

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	06	01	03	0403	農業振興対策事業		
総合計画	分野	しごと					
	政策	1-1	農林業の振興				
	施策	1	農業生産の支援				
目的	農家の経営安定						
対象	農業者等、関係団体						
意図	農畜産物販売額の増加と農業所得の向上						
事業概要							
○花巻市農業振興対策本部運営支援 農業振興対策事業、農業賞表彰・農業振興大会等の実施 ○農業支援利子補給 農業経営安定のため農業者等が借り入れた資金の利子の一部を補給							
市民参画の有無 [ 対象外 ]							
市民協働の形態		共催	○ 実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛	○ 補助・助成		委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
① 実証圃・展示圃の設置箇所数	箇所		計画	6	7		
			実績	10	9		
② 販促・PR活動	回		計画	6	7		
			実績	7	12		
③			計画				
			実績				
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
① 農畜産物販売高 (花巻農協)	百万円		目標	11,076	10,683		
			実績	9,715	9,591		
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成26年産米の米価下落の影響により、農畜産物販売高は、目標を下回った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・対策本部は、農業関係機関・団体が連携し本市の農業振興を図ることを目的としているため。 ・制度資金融資は重要な農業支援策となっており、農業振興のために利子補給が必要である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・新たな農業技術の普及による収量増加やコスト削減、有利販売などの効果により農業所得向上の余地があるため。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・対策本部負担金は、構成機関・団体の協議により決定しているため。 ・制度資金の利子補給は承認によって決まっている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・対策本部の事業は、全ての農業者を対象にしているため。 ・制度資金の条件に合致した農業者を対象にしており適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価		
・農畜産物販売高は、目標額を確保することができなかったが、農家の経営安定のために、農業関係機関・団体が連携して新たな農業技術の普及や農畜産物の販売促進活動に取り組み、本市の農業振興を図った。 ・利子補給によって制度資金の活用が推進され、農業生産の向上につながる設備投資が促進されることが期待される。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 安部慎司 内線 6-293  
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0403	農業振興対策事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			12,948		
財 源 内 訳	国・県		842		
	地方債				
	その他				
	一般財源		12,106		

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標  
収益性の高い農畜産物の生産を進める。

事業開始の背景・経緯

昭和29年に農業関係団体で農業振興対策本部を設立し、農業技術普及を中心に農業生産の振興に努めてきたが、平成20年度に農協が主導する農業振興協議会と統合して現在の組織となっている。農業経営の安定化を支援するために農業資金の利子補給事業を実施している。

事業概要

- 花巻市農業振興対策本部運営支援  
農業振興対策事業、農業賞表彰・農業振興大会等の実施
- 農業支援利子補給  
農業経営安定のため農業者等が借り入れた資金の利子の一部を補給

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・花巻市農業振興対策本部の事業として、新たな農業技術の普及のために展示圃を設置し、収量の増加やコストの削減を図るとともに、農畜産物の積極的な販売促進活動も支援する。
- ・制度資金の利子補給を適切に実施する。

《事業手法の詳細》

- 農業振興対策事業
- ①花巻市農業振興対策本部負担金 7,800千円
    - ・構成団体：花巻市、花巻市農業委員会、花巻農業協同組合、岩手中部農業共済組合、花巻地域農業管理センター、全農岩手県本部、花巻農林振興センター、北上農村整備センター、中央農業改良普及センター、県南家畜保健衛生所、各土地改良区、花巻農業振興公社、東北農政局奥州地域センター（賛助会員）
    - ・事業内容：花巻市農業振興大会、花巻市農業振興展、農畜産物販売促進イベント支援、農村振興部会、米穀振興部会、園芸振興部会、畜産振興部会での各種事業
  - ②農業支援利子補給事業 5,148千円
    - ・農業近代化資金利子補給金
    - ・新しいわて水田農業確立推進資金利子補給金
    - ・農業経営基盤強化資金利子補給金